

①

上手に歩くことができる。
平らなところでは、
めったに転ばない。



②

パパ、ママ、その他
意味のあることばが
言える



③

スプーン、フォークを
使用し、食べようと
する。



④

手を軽くもってやると
階段が登れる。



⑤

なぐりがきができる。



1 歳 6 か 月 の 頃

しつけ

こどもが社会の中で生きていくために必要なよい習慣が身につくように働きかけることです。

こどもはいろいろなことをしたがって、大人の真似をします。その時がしつけのチャンスです。

しつけとはしつづけること、初めはうまくできなくても、根気強くほめたり励ましたりして自信をもたせます。

食事



こぼしてもよいので、スプーンやコップを持たせて自分で食べさせましょう。哺乳瓶はむし歯の原因になりますので控えましょう。食事は決まった時間に楽しい雰囲気、30分以内に食べ終わるようにしましょう。

トイレ トレーニング



おしっこの間隔が2時間くらいになり、大人の言うことが分かるようになってきた頃がトレーニングを始める目安です。おまる・補助便座・トレーニングパンツなどを利用したり、トイレの中にキャラクターシールを貼るなど、楽しい雰囲気を作るのも効果的です。失敗してもしからなくて、気長に練習しましょう。できたら、思いっきりほめてあげましょう。

ねむり



「寝る子は育つ」といわれているように、成長ホルモンは夜の睡眠中に大量に分泌されています。こどもの頃から、早寝・早起きの習慣をつけることが大切です。大人もテレビ、ラジオ等を消してこどもの眠りに協力しましょう。

むし歯 予防



歯磨きの習慣をつけましょう。

まだ自分では歯磨きはできませんから大人が仕上げみがきをします。

おやつは時間を決め、食べ終わったら、お水を飲ませましょう。



おもちゃ



少ないおもちゃでじっくり遊ばせましょう。単純なおもちゃ（車・ボール・積み木・ぬいぐるみ・絵本など）で、大人と一緒に語りかけながら遊んであげましょう。気持ちを共有しながら関わることが大切です。「遊ばせる」と思わずに「一緒に楽しく遊ぶ」ことをこころがけましょう。

メディア機器



親も子どももメディア機器接触時間のコントロールが大事です。親子の会話や体験を共有する時間を持ちましょう。

⑥ 上衣を脱ごうとする動作がめばえる



衣類の着脱



服を脱ごうとする動作が芽ばえてきます。洋服はぬぎきしやすいものを準備しましょう。

ことば



ママ、ブーブーなどの意味のあることばを2~3いえるようになり、大人の言うことはかなり理解するようになっていきます。こどもとの生活の中で「おいしいねえ」「かわいいねえ」といった感情と一緒に共有し、それをことばで表現してあげましょう。

⑦

排せつの練習を始めている



⑧

大人が歯磨きをしてあげる



事故の予防



転落、横転事故、やけど、水の事故、交通事故、誤飲に注意してください。環境を整え、目の届くところで遊ばせましょう。

読み聞かせ



幼児は、絵本や物語を読んでもらうことが大好きです。絵本の読み聞かせは言葉の発達を促すだけでなく、スキンシップもはかれ、こどもの想像力を豊かにします。読み聞かせをする時には膝の上に座らせたり、会話をかわしたりして、ゆったりとした雰囲気を楽しんでください。

⑨

コップから飲む（哺乳瓶は卒業）

